

◎リンデロン錠 [内] , ○リンデロン坐剤 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ベタメタゾン (U) Betamethasone 【分類】 合成副腎皮質ホルモン剤

【単位】 ◎0.5mg/錠, ○坐剤0.5mg

【常用量】 0.5～8.0mg/日

【用法】 ■内服：分1～4 ■坐剤：0.5～2.0mg を分1～2, 以後症状をみながら漸減するが、症状により増減

【透析患者への投与方法】 尿中未変化体排泄率が低いいため、減量する必要ない (3,6) が、透析患者の消化管は脆弱であるため注意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (3,12)

【特徴】 半減期が36～54時間と長時間作用型に属する合成副腎皮質ホルモン剤。ミネラルコルチコイド作用はほとんどない。下垂体副腎皮質系を抑制しやすいので注意を要する。ヒドロコルチゾンの20～30倍 (30～35倍という説もあり、プレドニゾロンの約10倍) のグルココルチコイド作用を持ち、ミネラルコルチコイド作用はほとんどない。

【主な副作用・毒性】 誘発感染症、白内障、緑内障、骨粗鬆症、骨髄無菌性壊死、ミオパシー、副腎皮質機能不全、消化管潰瘍・穿孔、血栓症、創傷治癒遅延、皮膚の脆弱化、しゃっくりなど

【モニターすべき項目】 血糖、副腎機能、眼科的検査、血清電解質、消化管出血など

【F】 72% (1,10)

【tmax】 2hr (錠), 5hr (坐剤) (1)

【代謝】 肝で急速に代謝。腎やその他の臓器でも代謝を受ける (U) ベタメタゾンの一部は C-6 位が主に CYP3A4 で代謝され 6β-水酸化体になる (1) その他に 11-デヒドロ体 (11β-水酸基の酸化), 6β-水酸化体, 20-ジヒドロ体 (C-20 位のカルボニル基の還元), 6β-水酸化-20-ジヒドロ体, 11-デヒドロ-20-ジヒドロ体, 6β-水酸化-17-オキシ体が同定されている (1)

【排泄】 非活性代謝物として腎から排泄 (U) 尿中未変化体排泄率 5% (12,14) 尿中回収率 70% [po, 48hr まで] (1)

【CL】 183mL/min (10) 2.9±0.9mL/min/kg [iv] (1) 【非腎 CL/総 CL】 95% (10)

【t1/2】 5.6hr (1) 3～5hr (U) 6.5hr (10,14) 5.5hr (12)

【蛋白結合率】 60±1.9% (1) 64% (10) 65% (12)

【Vd】 1.8L/kg (10,14) 1.4L/kg (12) 1.4±0.3L/kg (1)

【MW】 392.46

【透析性】 除去されるが効率的ではないと思われる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない

【OW 係数】 高い (11) 資料なし (1)

【最大効果発現時間】 1～2hr (錠)

【備考】 急性心筋梗塞直後に投与された場合に心破裂をおこすことがある。長期、あるいは大量投与中の患者または投与中止後6ヶ月以内の患者では、免疫機能が低下していることがあるため生ワクチンの接種は禁忌 (1) 坐剤の内容物は液体なので分割は困難 (1)

【更新日】 20230620

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。